特定非営利活動法人 ひらかた環境ネットワーク会議

令和元年（2020 年）度 第 3 回理事会議事録

1. 日時：2020 年 11 月 6 日（金） 午前 10 時 30 分～11 時 25 分

2. 会場：サプリ村野　環境保全研修室

（特定非営利活動法人　ひらかた環境ネットワーク事務局会議室）

3. 理事総数：14 名

4. 出席者数：出席 14 名　（本人出席：9 名、委任状出席：3 名、欠席 2 名）

（伊丹理事、市山理事、石井理事、小出理事、小林理事、末岡理事、谷崎理事、増本理事、丸井理事、柳谷監事）

5. 議　題：・中間事業報告

・上期予算執行状況

6. 議事経過及び結果

（1）本日の理事会は、定款第 36 条に定める定足数を満たして有効に成立している旨を述べて、開会を宣言した。

（2）定款第 35 条の規定に基づき、伊丹理事が議長に就任した。

（3）定款第 39 条第 6 項の規定に基づき、議長が議事録作成人に事務局、議事録署名人に末岡理事、市山理事を指名した。

（4）「中間事業報告」および「上期予算執行状況」について、丸井理事が概要の説明を行った。末岡理事から、モビリティマネジメント事業について補足があった。

※質疑応答

末岡：事業が減ったり、職員が減ったりした分で、補助金等を返却する必要はあるのか。

柳谷：直接人件費を払っているわけではないから、形態が変わっても事業が遂行されていれば問題ない。

丸井：経常費用の事業費には、Ｓ－ＥＭＳ事業以外は人件費を含んでいない。

末岡：自然エネルギー部会は誰が中心となって活動しているのか。

丸井：丸井と赤井さんである。他にも協力者はいる。

市山：職員の補充は予定しているか。

丸井：当面予定はない。

小林：当団体もコロナの影響で、できない事業もあるが、形を工夫してやっている。どこの団体もそうだと思う。

谷崎：コロナで人が外に出なくなっているので、こういう活動は難しいが、事務局は人が来たくなる雰囲気作りが大切である。

丸井：講座の参加者は講座が終わっても残ってお話ししたり、楽しく参加いただいているようで、リピーターも多い。エコノートの人やリユースコーナーの利用者の方もおしゃべりを楽しみに来てくださっている方もいる。環境情報コーナーは、とても敷居の低い場づくりができていると思う。

末岡：そういう方を会員や理事につなげていけないものか。

丸井：会員活動と参加は少し違うので、難しい面もあるが声をかけていきたい。

小出：竹取物語の会でも、今年は特に活動への参加者が少ない。

石井：当社も従来行っていた学校への出前授業が今年は実施できていない。しかし、映像を送るなど、コロナ拡散への配慮を最大限しつつ、できることをできる形で行っていきたいと思う。

柳谷：関わりが継続してあるというのが大切だと思う。コロナも今後どうなるのかわからないので、新しいやり方を考える必要もあるかなと思うので、そういう事も含めて会員さんの関わりが切れないようにできたらいいと思う。

7．閉会のことば

議長は、以上をもって本日の議事を終了した旨を述べ、閉会を宣言した。（11 時 25 分）

上記の議事の要領及び結果を明確にするために、議長並びに議事録署名人 2 名が、次に記名押印する。

2020 年 11 月 6 日

特定非営利活動法人ひらかた環境ネットワーク会議　理事会

議　　長　　伊丹　均　㊞

議事録署名人　　市山　二郎　㊞

議事録署名人　　末岡　妙子　㊞